日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

1版

様　式　Ｆ－７－２

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

機関番号	３２６０４

所属研究機関名称		大妻女子大学
研究代表者	部局	文学部
	職	教授
	氏名	内藤　千珠子

１．研究種目名　基盤研究(C)（一般）　　２．課題番号　15K02259

３．研究課題名　日本語文学における検閲とジェンダー

４．補助事業期間　平成２７年度～令和元年度

５．研究実績の概要

大正・昭和期の新聞・雑誌メディアの言語と小説の言語を主な分析対象とし、ジェンダーをめぐる言説論理が検閲制度とのかかわりによってどのように形成されたのかを明らかにしようとするのが、本研究の目的である。戦前期の検閲は、制度としての伏字を基本として実践されたが、本研究では検閲とジェンダーという主題に基づき、伏字とジェンダーの力学の関係性を検証した上で、伏字のもつ記号的効果を理論化し、検閲という観点から、日本語文学におけるジェンダー編成を明らかにすることを目指した。

本年度は、大正・昭和期に構成された言説論理の構造を念頭に、現代における明治・大正期の物語の表象について検証するために資料調査と考察を行った。大妻女子大学図書館、国立国会図書館、国文学研究資料館、都立図書館等で、１次資料を収集するとともに、調査を進めた。（1）革命の物語に現れる性的な禁止と政治的な禁止の構造、（2）現代日本におけるナショナリズムの情動とジェンダー構造について考察し、検閲システムに内在する禁止の効果が、物語の記述にどのように作用するのかという観点から、女性身体をめぐって連続する可視と不可視の暴力の構造、それにかかわる検閲的な禁止の問題について考察を進めた。

また、ジェンダー論やセクシュアリティ研究、クィア理論に関する理論的文献について、ワークショップや研究集会等での発表や討議を通じて、新たな理論的地平を獲得することにつとめた。そのなかで、革命という主題をもった文学テクストと、ナショナリズムの磁場においてあらわれるセクシュアリティとジェンダーをめぐる情動について考察し、国内学会等で研究発表をおこなった。歴史的に構成された検閲をめぐる感性が、ナショナリズムの情動とどのように切り結ぶのか検証し、その情動には不可視化されたかたちで性暴力の構造が伴われるというテーマ設定のもとで行った考察を論文にまとめた。

６．キーワード

文学　ジェンダー　メディア

７．研究発表

〔雑誌論文〕　計2件（うち査読付論文　1件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　0件）

１．著者名 内藤千珠子（翻訳・キムソキ）	４．巻 26巻4号
２．論文標題 愛国的無関心とジェンダー　現代日本の情動のフレーム	５．発行年 2019年
３．雑誌名 アジア太平洋研究（韓国）	６．最初と最後の頁 5-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

【研究代表者・所属研究機関控】

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

１版

１．著者名 内藤千珠子	４．巻 51号
２．論文標題 革命とジェンダー　金子文子が生きる「共鳴」のフレーム	５．発行年 2020年
３．雑誌名 大妻国文	６．最初と最後の頁 195-219
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

〔学会発表〕　計3件（うち招待講演　0件／うち国際学会　0件）

１．発表者名 内藤千珠子
２．発表標題 愛国的無関心とジェンダー
３．学会等名 HK国際ワークショップ（韓国、慶熙大学校）
４．発表年 2019年

１．発表者名 内藤千珠子
２．発表標題 戦時性暴力と情動のフレーム
３．学会等名 Trans-pacificワークショップ（米国、UCLA）
４．発表年 2019年

１．発表者名 内藤千珠子
２．発表標題 経済化する身体
３．学会等名 Gender and Japan Studies Workshop（米国、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校）
４．発表年 2019年

〔図書〕　計0件

８．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

９．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

１０．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

－

１１．備考

－